

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行 NO. 1973	
日時 2022年02月26日(土) 晴・高温	
山域 丹沢・高松山(801.7m)	
コース 下土狩駅6:07-東山北駅発7:13-松田山入口7:42-最明寺史跡公園8:45-川村分校跡-山北からの林道-尺里(ひさり)峠・第六天9:58-高松山10:50~12:07-ビリ堂-第二東名工事現場13:25-山北・地域活動団体ミュージック13:56-山北駅前・居酒屋「バル」-御殿場線15:15	
標高差 上り 東山北駅約80m~最明寺史跡公園上=約500m=約420m 高松集落約390m~高松山802m=約430m 累計=850m 下り 高松山802m~山北駅約107m=約697m	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
東山北駅から未経験のコースを上る	
参加者 後藤、勝又、井上、伊藤、井上初(一般)、野黒(一般)、清(一般) = 7名	
ど〜が〜 http://susono-reihou.babyblue.jp/0000-13.mp4	

第四土曜日はハイキングの日。井上会員の奥様と会社から若い同僚が2名参加で盛り上がった。当初は、高松山・西尾根のバリを考えたが、一般参加の方の力量が不明で一般コースにした。ただ、いつものコースでは、面白くないので、初めて東山北駅から松田山経由コースを選んだ。



駅近くで挨拶

初めて東山北駅で下車。驚いたが、駅舎なるものがない。勿論、無人駅。ホームから直に外に出る。雨嵐の時は、どうする?? すぐ外にトイレがあったが、これはJRのものでなく、山北町の建屋だった。新しい駅なので、経費削減だったのだろうか。

トイレを済ませ自己紹介。会員のITさんは、久しぶりの参加。昨年、旦那様を無くした。介護が長かったので、なかなか山に行けなかった。自身も足を捻挫し、ようやく癒え、参加出来るようになった。

Hちゃん、会員のI君の奥様。51歳。昨年の富士山・キノコ狩り以来の参加。土日が仕事なのでなかなか参加出来ない。今回は、「マンボウ」で参加出来た。旦那様とは、四国・徳島で知り合った。「阿波踊り」が得意。

N君は45歳。I君の会社の同僚。出身は石川県。180cmに100kgの堂々たる体躯。元は75kgだったが、単身赴任が長く、不規則な生活で太ったという。山登りは、どうなるか行ってみないと分からないようだ。

S君もI君の同僚。33歳。富士市に居住。登山はやっていないが、アウト・ドアは好きで、ガスコンロ・調理器具など持っている。独身で彼女を募集中。今回のメンバーでは、一番若く元気。

ほか、会員のKさん・I君・私で7名。R246を東に向かい、「松田山入口」のバス停から山に入る。最初から、急登が始まった。N君、早くも激しい息づかいで先が心配された。



松田山入口



公園管理人



矢倉岳

急なコンクリの林道を上る。周りはミカン・ウメの畑が続く。N君が「ぜ〜ぜ〜・ハ〜ハ〜」で、木の枝で杖を作った。これは効果があり、少し楽になったようだ。やがて、入口の看板に会った「最明寺史跡公園」着。

池がニッあり、トイレが完備。管理のジジさまが、派手な音楽を掛け、庭掃除をしていた。集めた枯葉を燃やし、煙がイイ感じで流れていた。「河津桜・・・」が、どうのこうのと言っていたが、

我々が静岡の人間と分かったのか？と思いきや、公園に河津桜があるらしい。「開花まで、もうじき・・・」と言いたかったようだ。

入口の看板にあった「松田山」は付近にあったらしい。「らしい」というのは、上りたかったが、分からなかったからだ。帰ってネットで見たら、報告書は「分かり難かった」とあった。



林道

公園を抜け梅林を上る。先日上った、矢倉岳が見えた。上り切れば、標高約500mの峠。峠から約100m下って高松集落着。眼下に川村小学校分校が見えた。学校は平成22年3月閉校になった。道標があって、尺里峠まで1時間10分とあった。

林道を大きくトラバースして行くと、漸く見覚えがある山北駅からの林道に出た。再び林道を行くと、尺里峠着。ここまで3時間弱だから、低い山にしては長い長い。それでも、初参加者は、何とか、まあまあだった。ここで大休止。峠上は、「第六天」と呼ばれている。「第六天」とは・・・

第六天は欲望の世界に生きる魔王です。しかし、大きな力をもつ仏法の守護尊として、人々に信仰されてきました。お釈迦さまがお悟りを開いたとき、その直前に「降魔（悪魔を降伏させる）」とよばれる出来事があったと伝えられています。

お釈迦さまの6年間の苦行の後でした。断食をはじめ、厳しい苦行で衰えた身体を尼連禪河という川で清め、静かに樹下に坐していたときの事です。そこへ「マーラ」と呼ばれる悪魔が近づき、お釈迦さまに誘惑を仕掛けました。おいしそうな食べ物をもりだくさんに出現させたり、美しい女

性をなまめかしく見せたりして、心を乱そうとしたのです。

金銀や宝石も次々と現わしましたが、効き目はありません。誘惑が通じないと見た悪魔は、今度は肉食獣や盗賊の群れ、攻めよせる軍勢を出現させて恐怖を与えようとしてました。しかし、お釈迦さまがたじろぐことはありません。悪魔はついに降伏し、仏法を守護する神になったということです。この悪魔マーラこそが第六天です・・・ネット



山頂下



最後の階段



山頂



広い山頂

峠から山頂までの50分は厳しい上りだった。とても、800mの山にみえない。早くも上から多くの登山者が降りて来た。中には、ダックスフンドを連れた家族もいた。途中で休憩。全員が揃った。

最後の階段を上る。上から動画を撮る。N君が苦しそう。手製の杖を二本使い頑張る。S君は若いだけに問題なかった。ITさんも問題なかった。Hちゃんは、ピースサイン。カヤトを抜けると山頂だった。まだ、11時前だったが、多くも方が昼食だった。

期待の富士山は見えなかった。しかも、何やら黒雲が纏わりついてた。「多分、大野原の野焼きかな」と思ったら、翌日の新聞に掲載があった。西風に乗って焦げ臭かった。

我々も一角を陣取り昼食。二人は「鍋焼きうどん」だった。好天で温かいので、ビアをガンガンやった。Hちゃんも「ツー・ビア」行ってしまった。(´艸`)



ツー・ビア、進行中！！



手製サンドイッチ

私は、このところ「鍋焼きうどん」が続いたので、味が薄い優しいカップ・ラーメンと手製のサンドイッチ。レタスは畑のモノだ。

食事中も次々と多くの方が山頂に集まって来る。凄い人数だった。人気がある山なのだろうか。コロナで皆さん、外出に「飢えて」いるのかも。ハイキングは、比較的「密」ではないので、「飢えを凌ぐには」最適だろう。S君が「箸を忘れて」カップ・ラーメンを食べれなかった。余分があったので上げた。早く言ってくれば良かったのに。



記念撮影・N君はやっぱり大きい



三角点足ポーズ



下山

Hちゃんが、N君に「今日は、どうでした??」と盛んに聞いたが、「まだまだ早い。下りが半分残っている」と混ぜっ返した。集合写真後、Hちゃんが、「ランニング終了後の足揃えポーズを三角点でやりたい」と希望したので、皆でポーズを取った。

時間は早かったが下山。まだまだ、下から沢山上って来る。昼食時間は、とっくに過ぎているのに、食事を摂らずに上っているようだ。空腹は、「シャリバテ」で本当に動けなくなる。適当に食べて上った方が良い。



下山



地域活動団体の無料牛乳



山北駅前・居酒屋「バル」



第二東名工事現場に来ると、長い長い鉄製の階段が続き参った。しかも、下りだけでなく上り返しがあった。一同、長い階段に、上りでなく良かったの感想。

尺里集落に下った。2020年、ここで「猪の放し飼い??」を見て驚いたが、集落のババさまに聞いたら、「最近は何処かに行ってしまった」とのことだった。

近くに、「地域活動団体ミーク」が、JA全農から提供された「わたぼく牛乳」を無料で配っていた。ちょうど、喉が渴いた時だったので、有り難く頂いた。配っていた民家は、昔ながらの「田造り」住宅で立派なものだった。

暑い中、漸く山北駅着。電車の時間まで1時間ある。予定通り?? 駅前で喉を潤す。前回、居酒屋「ポップ駅前屋」に寄った。先ほどまで、お客がいたようで、暖房がモーレツに暑かった。女将があまりイイ顔をしなかつたので、前回なかった隣の隣の居酒屋「YAMAKITA・バル」(スペイン語で居酒屋の意)に入った。若い衆がやっていたが、感じは良かった。

ビア大ジョッキが700ー、つまみの「モツ煮込み」が300ー。ビア大ジョッキは、最近ない「正しい大ジョッキ」で嬉しくなった。「モツ煮込み」は、美味しかった。

井上君が気付いたが、店は居酒屋になる前、薬局だったらしく、店内のガラス張りの「調剤室」に、ズラーと銘柄の一升瓶が並んでいた。これでは、「調酒室」だと笑ってしまった。

ここから選んで飲めるのだろうか?? 今回は、久しぶりに若い衆とのハイキングで、いろいろ刺激を受け楽しかった。また、参加してくれると嬉しいね。また、行こう!!!

参加者のひとこと

井上初ちゃん 久しぶりの山登り、天候にも恵まれてとても楽しかったです。山頂でのビールは最高です。今回、下山時に右膝外側に痛みを感じました。ランの時は左膝。帰宅してから、山と渓谷の雑誌を読んでいたら、膝の外側が痛くなるのは、ランの時に指摘されていた事だったので、自分がすべき事がわかりました。



左・初ちゃん

野黒さん 小学校6年生のとき、学校行事でのピクニック以来の山登りでした。天気も良く頂上での景色も素晴らしかったです。(富士山が雲で隠れていたことは残念でしたが…)
今回の山登りでは自分の生活習慣や不摂生を見直す良いきっかけとなりました。本日は昨日の疲れを癒すべく温泉にでも行こうと思っています。ありがとうございました。



左・野黒さん 中央・清さん

清さん 山登りに参加させて頂きありがとうございます。
初心者の私にも登れるコース設定をして頂いたり、ペースを合わせて頂いたので楽しく登ることが出来ました。
ありがとうございました。